様式第2 (第6条関係)

電気工事士免状交付申請書

令和 年 月 日

山形県知事 殿

写真貼付欄
※写真裏面に氏名を記入してください。

申請者 〒□□□-□□□□ (TEL ())

住 所

(フリガナ)

氏 名

生年月日 年 月 日生

電気工事士法第4条第2項の規定により第 種電気工事士免状の交付を受けたいので、次のとおり申請します。

◎電気工事士免状を受ける資格	1 第一種電気工事士試験に合格し、かつ、実務経験を有する。 2 第二種電気工事士試験合格 3 養成施設修了 4 認 定
----------------	--

※ 受 付 欄	※ 経 過 欄

連絡先 (昼間)

勤務先・学校名等		電話	
----------	--	----	--

- (備考) 1 この用紙の大きさは日本工業規格A4とすること。
 2 ◎印欄には、該当する事項を○で囲み、これを証明する書類を添付すること。
 3 ※印欄には、記入しないこと。
 4 この申請書には、写真(この申請書提出前6ヶ月以内に撮影した縦4cm、横3cmのもので、裏面に氏名を記入すること。)を貼付欄に貼り付けること。

	山形県収入証紙貼付欄※収入印紙ではありません。 第1種：6,000円 第2種：5,300円		

電気工事士法第4条 第3項第2号 第4項第3号 の認定申請書

令和 年 月 日

山形県知事 殿

申請者 〒□□□-□□□□ (TEL ())

住 所

氏 名

㊟

生年月日

年

月

日生

電気工事士法第4条 第3項第2号 第4項第3号 の規定により認定を受けたいので、次のとおり申請します。

申請に係る電気工事士免状の種類			
◎ 電 気 工 事 に 関 す る 資 格	電気工事等に関して合格した試験、検定、免許、免状又は認定	試験、検定、免許、免状又は認定の種類	
		資格取得年月日	年 月 日
	電気工事士法施行規則第2条の4第1項に規定する電気に関する工事の経験年数		年
	電気工作物の工事、維持又は運用に関する実務の経験年数		年
	屋内配線又は屋側配線業務の経験年数		年
	修了した講習	名 称	
修了年月日			年 月 日
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄	

連絡先 (昼間)

勤務先・学校名等	電話
----------	----

- (備考) 1 この用紙の大きさは日本工業規格A4とすること。
 2 ◎印欄の記載事項については、記載した事項を証明する書類を添付すること。
 3 ※印欄には、記入しないこと。
 4 氏名を記載し、押印をすることに代えて、署名することができる。この場合において、署名は必ず本人が自署するものとする。

第一種電気工事士免状の交付申請に必要な書類等 (認定の場合)

山形県消防救急課

- ◎ 認定による第一種電気工事士免状の交付申請には、次のものがが必要です。
(申請時の住所地が山形県内にあることが必要です)

1 認定申請

- (1) 電気工事士法第4条第3項第2号の認定申請書(様式第1の4)
- (2) 実務経験証明書(記載例参照)
 - ・高圧電気工事技術者 → 高圧電気工事技術者試験合格後、3年以上の実務経験が必要
 - ・電気主任技術者 → 電気主任技術者免状取得後、5年以上の実務経験が必要
- (3) 高圧電気工事技術者試験合格証書又は電気主任技術者免状の写し

2 電気工事士免状の交付申請

- (1) 電気工事士免状交付申請書(様式第2)
- (2) 写真 1枚
 - ※ 申請書提出前6ヶ月以内に撮影した縦4cm×横3cmのもので、裏面に氏名を記入し申請書の貼付欄に貼付してください。なお、スピード写真等で画質の悪いものは不可とします。
- (3) 山形県収入証紙 6,000円分
 - ※ 県庁、各総合支庁の売店等で販売しています。
 - ※ 収入印紙ではありません。
- (4) 返信用封筒(切手不要)
 - ※ 発行した免状を申請者あてに簡易書留で郵送する際に使用します。
 - ※ 封筒は定形サイズで縦14cmから23.5cm以内、横9cmから12cm以内のものをご用意ください。
 - ※ 受取希望の住所(自宅、学校、勤務先等)、宛名、郵便番号を記載してください。

※ 第一種電気工事士免状の交付を受けた方は、交付を受けた日から5年以内ごとに法定講習を受けなければなりません。